

# 長崎高教組新聞

発行  
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号  
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 平井秀治  
一部 10円

高教組メールアドレス  
info@nagasaki-kokyoso.org

## 52人目の加入

### 長崎南分会から届く

「仲間と力あわせて 雰囲気づくり」  
声かけを待っている同僚も

前号で、長崎南高分会は「職場の仲間と力をあのある教職員から組合復帰の申し出があつて、職場のいいことを明らかにしたい」と語りました。しかし、このほど正式に「8月1日付けで組合には、高教組全体にエネルギーを与えるものだけに、各職場にひろがる」と語り、加入した当人と期待し

たいところです。「あなたが高教組にいと私たちは力づくのです。加入を待っているんですよ」と声を掛けています。その声を職場の同僚は待っているのです。

今回の加入で4月から加入は52人(新規加入8人、再任用等継続4人)となりました。

## 急がれる改善 超勤の常態化

### 委員長・書記長 校長協会会長と懇談

長崎高教組の平井委員長と馬場書記長は7月20日、長崎東高校を訪ね、校長協会の宮崎会長(長崎東高校長)と1時間ほど懇談を行いました。懇談は、超勤が月100時間を超える職員が多いことなどを踏まえて、その改善に向けて同じ立場に立つことができないか話し合うために行ったもの。

また、平井委員長は「週休日の引率の改善について意見を伝えることを約束しました。」と回答し、県教委に「わがかりました」と回答し、県教委に

## 週休日引率の改善に向けて校長協会も動く

懇談では、「多忙化する」という基本的な考現場の状況に対し宮崎会を指示校長会でもこの長は、「(仕事の)ビルド 立場から「捨てるべきがあつたらスクラップをものは捨てて」と言つて

## 必要に応じ 今後も懇談を行うことを確認

その他、人生の達人セ 減、ノー部活デー、国体ミナーの全校実施について・総文祭・インターハイでの県独自の加配措置の

## 書記局より



### ■長崎県母親大会

- ・9月11日(日) 10時～16時
  - ・長崎大学文教科キャンパス
  - ・講演(午後) 湯浅誠さん(反貧困ネットワーク事務局長) 『貧困なくし、人間らしく生きられる社会を』
  - ・6分科会(午前) 教育では、小4の算数に関わって除数2桁の模擬授業を実施。学習指導要領にそった授業とわかる授業の2本立て。学習指導要領では確実につまづく?!ことが明らかに。
  - ・どなたでも参加できます。
- 実行委員会の一団体である高教組書記局に参加券がありますので、連絡して下さい。

### ■教職員平和のつどい

- 原水禁 2011年世界大会の一環行事として開催。
- ・8月8日(月) 17時30分～
- ・セントヒル長崎
- ・福島県からの特別報告や平和さるくガイドの報告(鳴滝・今泉教諭 本部執行委員)などがあります。

## 平和行進と自治体要請・懇談

### 地元でも注目される 島原支部等

島原支部は他団体との「島原新聞」でも大きく取りあげられました。また、実行委員長は山口真澄で平和のとりくみを行いました。その行動は地元高教組島原支部長が務め



▼写真 平和だから行進できるの思いで歩く参加者



▼写真 参加者による記念のコマ

市長や副市長・議長などが対応して、メッセージやペナント・カンパを戴きました。今年は、これまでカンパがなかった雲仙市からも個人的なカンパをいただいた、一歩前進の感がありました。参加者は17人。高教組島原支部内からは山口・釣船・小田の3人、ほか高退教・原水協・民商などからの参加がありました。6日の平和行進・映画祭も成功させたい。

◆国民平和行進は、長崎、佐世保、大村、諫早、西彼の各支部でもとりくまれています。

## 期待受け 強く大きく 高教組

高教組は一人ひとりの願い大事にし、全体の要求に練り上げ、これをみんなの力で実現させるべく取り組みます。同僚に加入を勧めましよう。

# 農・水・工間の「交流人事」は問題がある 59%

## 高教組 アンケート実施

今年4月の人事異動で、従来には考えられなかったとは極力避けるべきなど、農・水・工間の専門科教諭の異動が、学校現場で広く説明することなく実施されました。さらに県教委は、高教組との折衝の中で、こうした専門教科を超えた「交流人事」を、今後、農・水・工間間で実施していく考え方を示唆しました。

このため高教組は、農・水・工間の専門科教諭を対象に、この問題についてのアンケートを実施し、109人から回答を得ました。その集約結果は次の通りです。

### 募る 人事行政に対する不信

「この『交流人事』についてどう思いますか」という設問に対して、「問題がある」とした人は64人(59%)、「問題はない」とした人は35人(32%)でした(無答が10人)。

「この『交流人事』について問題点としては、「専門性をないがしろにして」という設問に対して、「問題がある」とした人は64人(59%)、「問題はない」とした人は35人(32%)でした(無答が10人)。



### 思い、思い、思い。ファイル

#### 論で反発する大事さ

佐高信と落合恵子の対談が長崎市であった(5/21)。その席上、佐高さんは「原発文化人」というべき学者・財界・ジャーナリストなどの人たちが「国民世論を買い占め」、「原発安全神話」

「この『交流人事』について問題点としては、「専門性をないがしろにして」という設問に対して、「問題がある」とした人は64人(59%)、「問題はない」とした人は35人(32%)でした(無答が10人)。

不信の声も寄せられています。

**必要条件 本人の希望と了解**

県教委が、今後、農・水・工間間で「交流人事」を行うとして、本人の希望と了解を得る必要があることを認めています。

#### ▼農・水・工間の「交流人事」に関する要求項目

1. 農・水・工間の「交流人事」は本人の希望があった場合のみ行うこととし、毎年行う恒常的な制度にしないこと。あくまでも厳守すること。
  - (1) 事前に希望の有無を文書で確認すること。
  - (2) 「交流人事」の期間は2年とし、本人の希望がない限り延長しないこと。
2. 今後、このような従来にない人事異動の方針を導入する場合は、事前に高教組と協議を行うとともに、実施に際しては、その内容を学校現場に周知する期間を十分に設定すること。

31人(28%)、「条件付きで認めてよい」が65人(60%)、「認めてよい」が10人(9%)でした(無答が3人)。

認める条件としてあげられたのは、本人の希望または了解という主旨の回答が最も多く46人で、その他に「関連」「共通項」がある分野に限るという主旨の意見がいくつかありました。

このようなアンケートの集約結果を受けて、高教組の執行委員会は、要求項目(上掲参照)を掲げて要求書を提出し、県教委と交渉することを決定しました。

### 震災復興を口実にするな!

#### 長崎から5人参加 7・28中央行動



7月28日の中央行動に、長崎高教組からの5人(写真は長崎の参加者)を含む千五百人が結集し、終日行動を行いました。

「震災復興を口実にした雇用と暮らしの破壊を許すな」と「最低賃金引き上げ、均等待遇実現、公務員賃金改善、国民本位の予算実現」を掲げたどりとくみで、同様の行動が今後とも続きます。

**問** 家庭訪問の旅費は

答 県費ではなく私費会計から出されている学校が多いようですが、県費での出張にはできないのでしょうか。

**問** 県費での出張に

答 家庭訪問は公務として行くわけですから、他の業務と区別して県費での出張にしない理由はありませぬ。

**問** 夏季休暇はいつまでとれますか。また、「事由」の欄には何を書けばよいのでしょうか。

答 夏季休暇は7月1日から9月30日までとることができます。人事委員会規則では、夏季休暇の請求の事由として「盆等の行事」と並べて、「心身の健康の維持・増進」「家庭生活の充実」をあげていますから、休養や家族旅行等を事由とすることができま

**問** 夏季休暇は7月1日から9月30日までとることができます。人事委員会規則では、夏季休暇の請求の事由として「盆等の行事」と並べて、「心身の健康の維持・増進」「家庭生活の充実」をあげていますから、休養や家族旅行等を事由とすることができま